PRESSRELEASE

JASDAQ

HAKUTEN

2016 年8月 18 日
株式会社博展
http://www.hakuten.co.jp

報道関係者各位

木村偉織選手が Asian Le Mans Sprint Cup で優勝！

～四輪レースのデビュー戦を飾る～

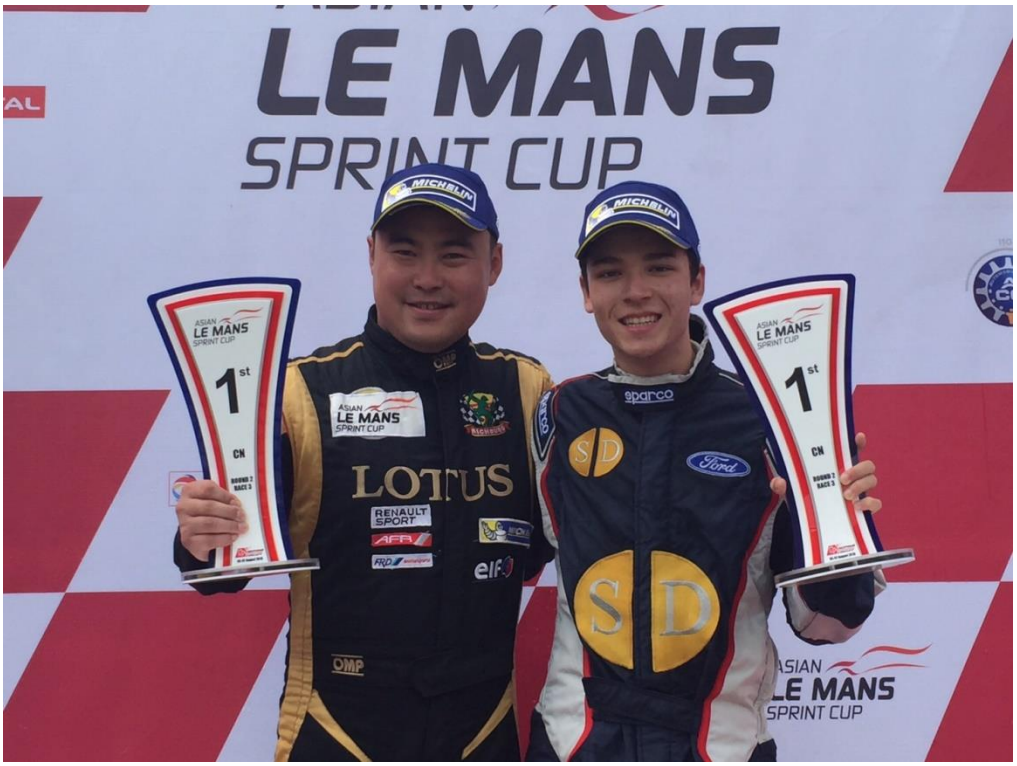
株式会社博展（本社：東京都中央区、代表取締役社長田口徳久）のマネジメント選手である木村偉織（きむらいおり）は、Asian Le Mans Sprint Cup 第3戦（マレーシア セパン・インターナショナル・サーキット）にPSレーシングチームから出場し、デビューレースを優勝(CN クラス)で飾った。

木村偉織選手は17歳の現役高校生レーシングドライバー。
昨年まで全日本カート選手権に出場していたが、昨年末から活動の舞台を四輪レースに移し、Formula Renault2.0 の車両でトレーニングを重ねていた。続く第4戦は、惜しくもマシントラブルのためリタイアしてしまったが、走行中に CN クラスのレコードタイムをたたき出す等、デビューレースとは思えないパフォーマンスを披露し、チーム内外を驚かせた。

【木村偉織選手からのコメント】
レース1週間前に参戦が決定し、ライセンスなどの準備で忙しい中、初めての四輪デビューを前に期待と不安でいっぱいの気持ちでセパンに向かいました。
コンディションは良く、コースレコードに挑む気持ちで予選を走り、決勝ではゴールに車を持って帰ることに集中してドライブし、デビュー戦にて勝利を飾る事が出来ました。久しぶりの表彰台とトロフィーがとても嬉しかったです。
カート時代以上にメカニックやエンジニア、チームの代表とコミュニケーションを取り、自分の状態を完璧にするだけではなく自分がチームの環境を最大限に発揮させ、全ての状態を完璧にしなければいけないな、と痛感しました。カートでは経験出来なかったことが早い段階で経験出来てよかったです。今回のレースに出場させてくれた両親、スポンサー、チーム、マネージャーに感謝です。

【選手プロフィール】
木村偉織（きむらいおり）
生年月日/1999 年6月 22 日 出身地/東京
ロシア人の父と日本人の母を持つ。6歳の時、鈴鹿サーキットにて F1 を観戦したことをきっかけにカートを始める。13 歳、14 歳と2年連続して株式会社ブリヂストンより「ブリヂストンモータースポーツアワード」を受賞。昨年は TOYOTA・YAMAHA ワークスチームのスカラシップに合格。今年は海外に舞台を移し、ミドルフォーミュラでテスト走行を重ねており、今回のレースが四輪でのデビュー戦となった。

【Asian Le Mans Sprint Cup（アジアン・ル・マン・スプリント・カップ）】
アジアン・ル・マン・シリーズ（AsLMS）を運営するフランス西部自動車クラブ（ACO）により、今年の夏に『アジアン・ル・マン・スプリントカップ』と名付けられた新シリーズ。シリーズは5月から9月に全3ラウンドで開催され、舞台はすべてマレーシアのセパンとなる。各ラウンド2レース制となり、45 分のフリープラクティスが2回と、15 分の予選が2回、そして最大 60 分間のレースが2回行われる。



【株式会社博展】
主に展示会の施工会社として 1967 年に創業。その事業領域を拡大し 2008 年に大証ヘラクレス(現東証JASDAQ)に上場。人と人とが直接出会う“場”・“空間”において“感動”や“驚き”といった“体験”を創出し、その体験をクライアントのブランド価値や商品価値の向上に結び付ける Experience マーケティングを提唱している。700 社を超えるクライアント企業に、コンタクトポイントにおけるコミュニケーション開発や統合型のマーケティングソリューションなどを提供。近年は、ロボティクス、映像アプリ開発などのデジタル分野や、グローバルビジネスとして、自社で主催する国際会議事業、サッカーやモータースポーツのスポーツコンテンツを扱う事業も手掛ける。

以上

■本件に関するお問い合わせ先

株式会社博展
グローバルビジネス事業開発本部スポーツ・マネジメント部
担当:良藤辰夫

Hakuten Corporation
Account Executive Sports Management Department
Account:Tatsuo "RYO" Ryoto

〒104-0045 東京都中央区築地 1-13-14 NBF 東銀座スクエア 9F
Tel:03-6821-4814(直通) Fax:03-6278-0092
tatsuo.ryoto@hakuten.co.jp
http://www.hakuten.co.jp